

2004年第51週報告分

- 発生動向の概況
- 定点医療機関からのコメント
- 全数届出患者報告数
- 五類定点患者報告数
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
インフルエンザ
- 年齢階級別報告数
- 保健所別報告数
- 保健所別報告数(定点当たり)
- 感染症豆知識(先天性風しん症候群)

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



発生動向の概況 51週分

(全数報告の疾患)

- ・細菌性赤痢が1件報告された。検出菌はソネ菌(推定感染地:インド)である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が1件報告された。検出菌の血清型はO157(VT2産生株)である。
- ・アメーバ赤痢が1件報告された。推定感染地は国内で、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・ウイルス性肝炎が1件報告された。B型肝炎で、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触である。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。臨床診断により決定された孤発性CJDである。推定感染地は国内で、感染経路は不明である。
- ・HIV感染症が5件報告された。無症候性キャリア3件、AIDS1件、その他1件で、推定感染経路は同性間性的接触2件、異性間性的接触2件、両性間性的接触1件である。
- ・梅毒が4件報告された。早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候梅毒1件で、推定感染経路は異性間性的接触2件、両性間性的接触1件、不明1件である。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・感染性胃腸炎の報告数は前週に引き続き急増し、定点あたり17.9人となった。先週と同様、町田保健所、江東区保健所、江戸川保健所、荒川区保健所からの報告が多い。

(検出された病原体)

- ・インフルエンザ集団発生1事例5名のうがい液からインフルエンザウイルスAH3(A香港)型の遺伝子が検出された。
- ・ヘルパンギーナ、ウイルス性発しん症、不明熱、上気道炎各1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。ヘルパンギーナ患者からは単純ヘルペスウイルス、ウイルス性発しん症患者からはエンテロウイルスの遺伝子も検出されている。他のヘルパンギーナ1名の咽頭拭い液からもエンテロウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・発しん症1名の咽頭拭い液からアデノウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・ムンプス1名の咽頭拭い液からムンプスウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・感染性胃腸炎5名の糞便からノロウイルスの遺伝子が検出された。1名からはエンテロ

ウイルスの遺伝子も検出されている。

- ・ウイルス性胃腸炎集団発生13事例68名の患者糞便等からノロウイルスの遺伝子(GⅡ型)が、1事例2名の患者糞便からノロウイルスの遺伝子(GⅠ型)が検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA6株のコアグラマーゼ型は、すべてⅡ型であった。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌1株のT型は28型であった。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等396件中3件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等414件中117件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。

定点医療機関からのコメント

墨田区本所

- ・インフルエンザはA型であった(8歳女)。

中野区

- ・今シーズン初めてインフルエンザ迅速キットで陽性者が出ました。7歳女兒。前の晩から発熱して39度7分。咽頭痛を訴えています。A型でした。ワクチンはしていません。

全数届出患者報告数 2004年 51週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				年累計	全国分(診断週)	
		48週	49週	50週	51週		51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ					12	1	80
	細菌性赤痢	1	4	4	1	133	4	561
	ジフテリア							
	腸チフス					17	1	65
	パラチフス					15		82
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2			1	271	17	3613
四類	E型肝炎					4		(30)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					21		(129)
	エキノコックス症							24
	黄熱							
	オウム病					3		38
	回帰熱							
	Q熱					1		7
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症					1		6
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病			1		7	13	268
	デング熱					27	1	45
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							67
	日本脳炎							5
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
ブルセラ症								
発しんチフス								
ボツリヌス症								
マラリア	2		1		21	1	72	
野兎症								
ライム病							4	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					18	5	155	
レプトスピラ症					3		(17)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢		2	6	1	137	6	561
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)				1	58	3	290
	急性脳炎	1				8		(147)
	クリプトスポリジウム症					8		91
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1	20	4	165
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				6		52
	後天性免疫不全症候群	5	15	5	5	402	8	1089
	ジアルジア症					18	2	84
	髄膜炎菌性髄膜炎					7		22
	先天性風しん症候群					3		9
	梅毒	2	1		4	65	6	502
	破傷風					2	1	96
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				10		47

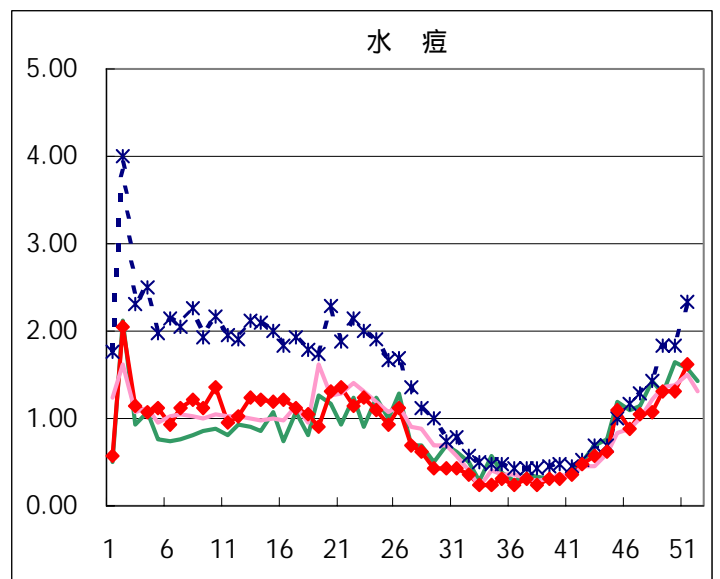
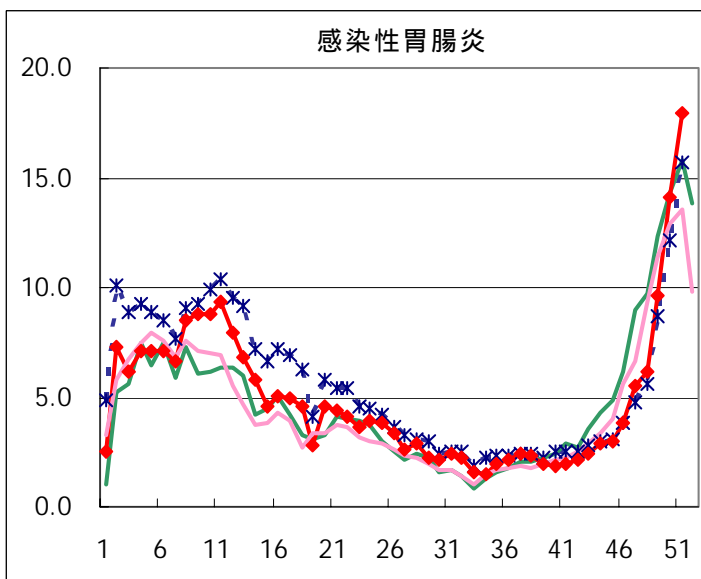
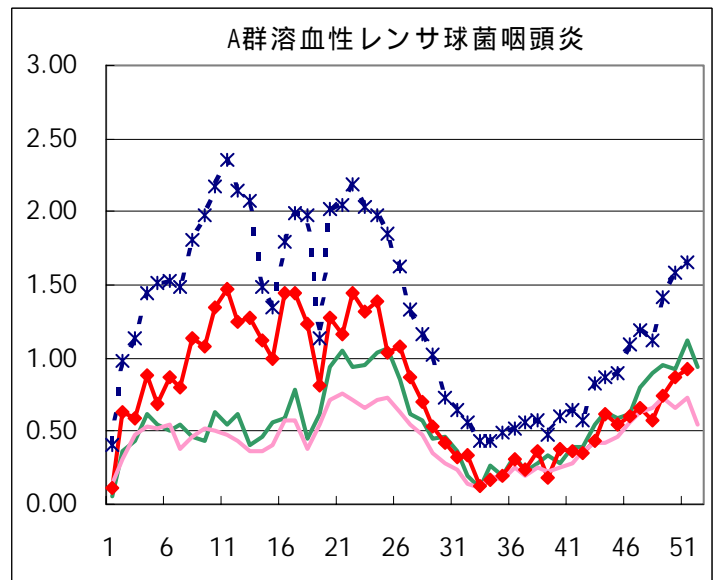
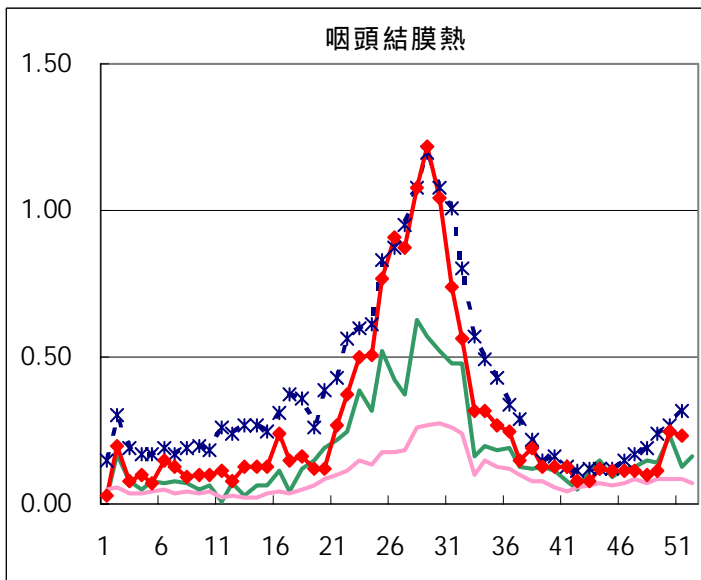
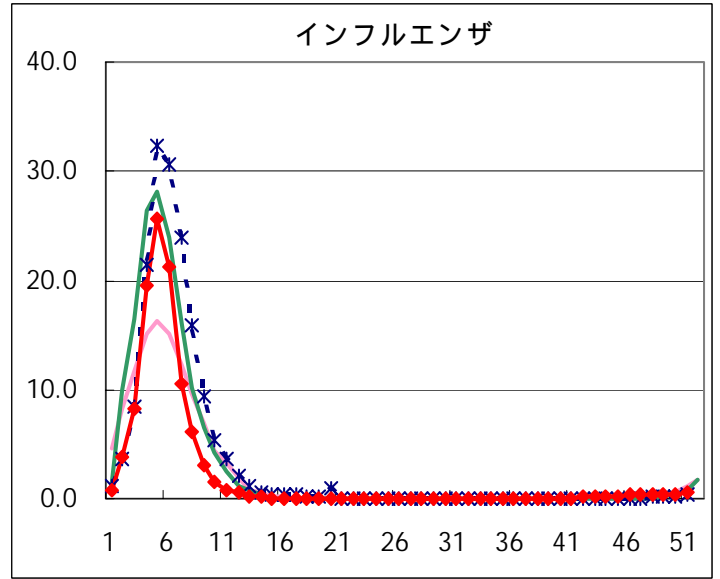
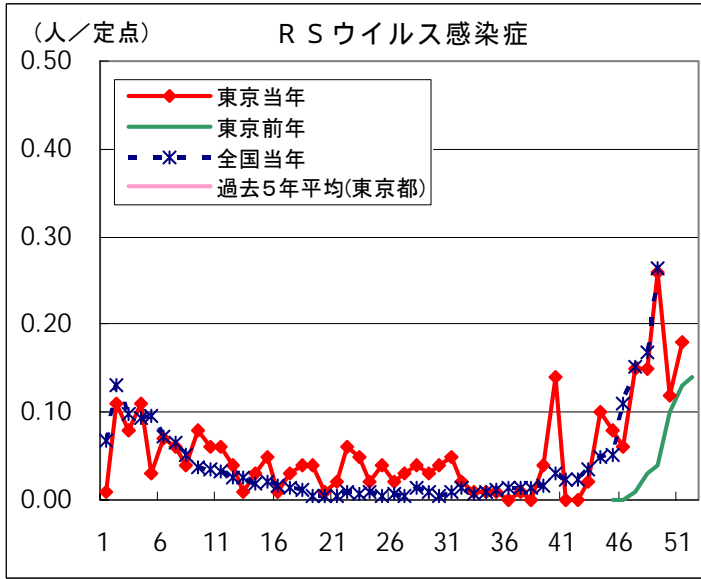
2004/12/24集計(カッコ内の数値は前々週分である)。

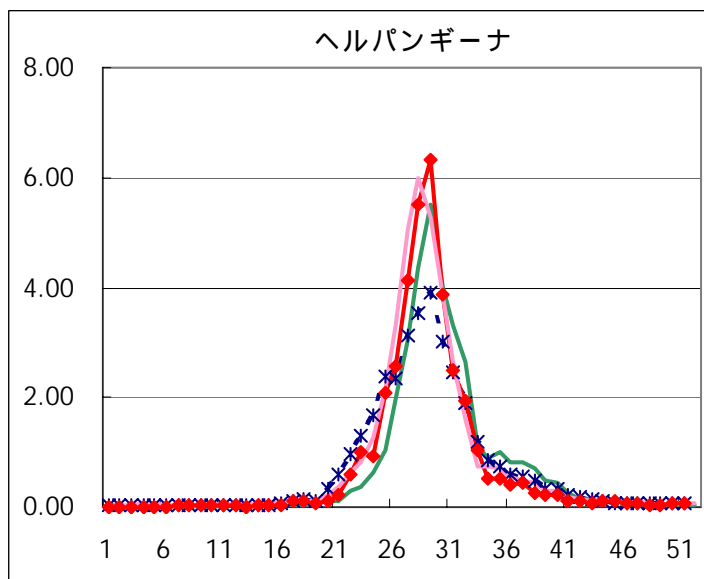
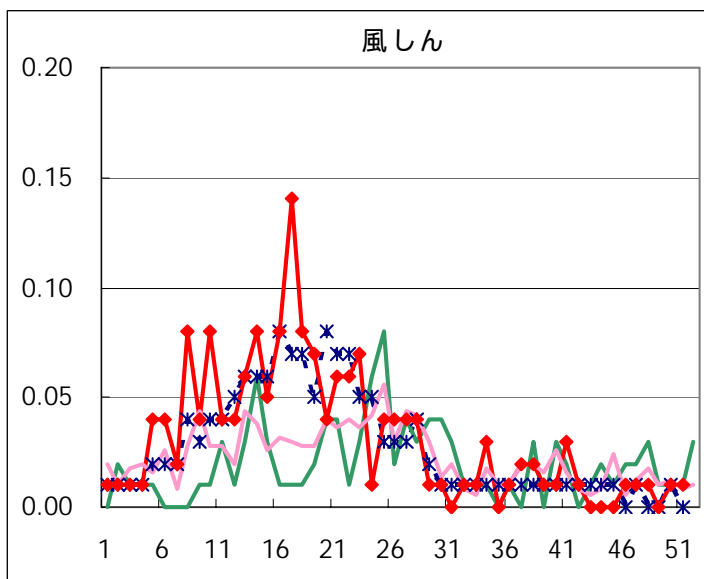
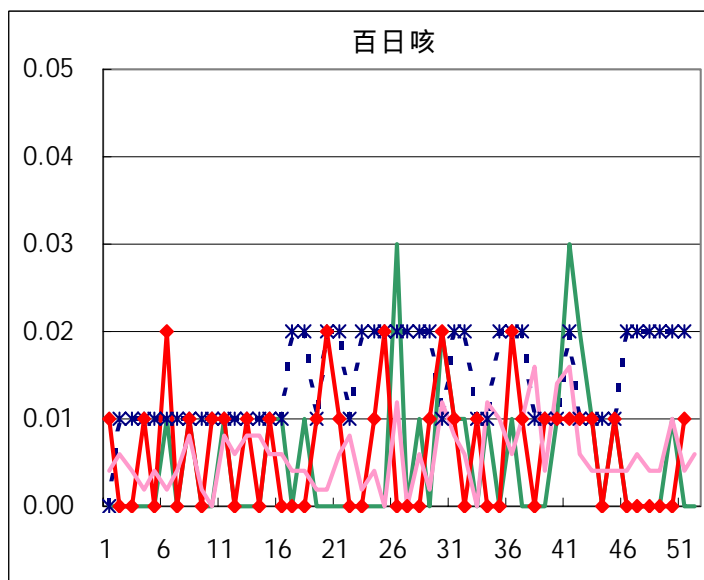
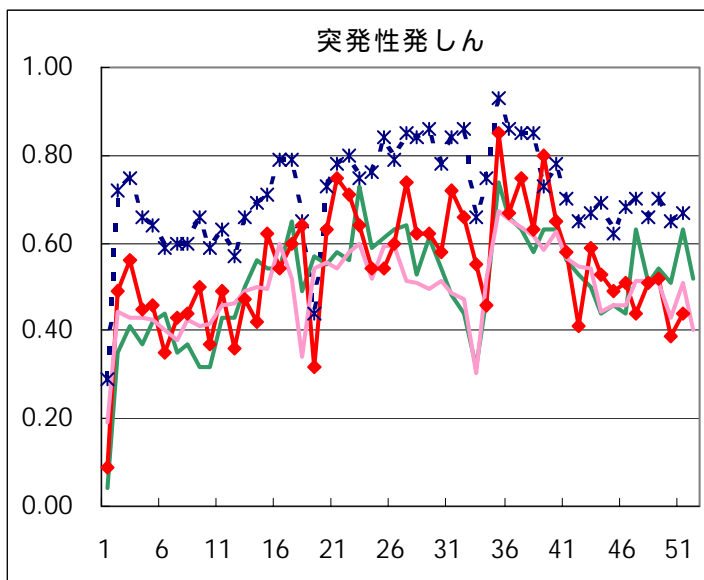
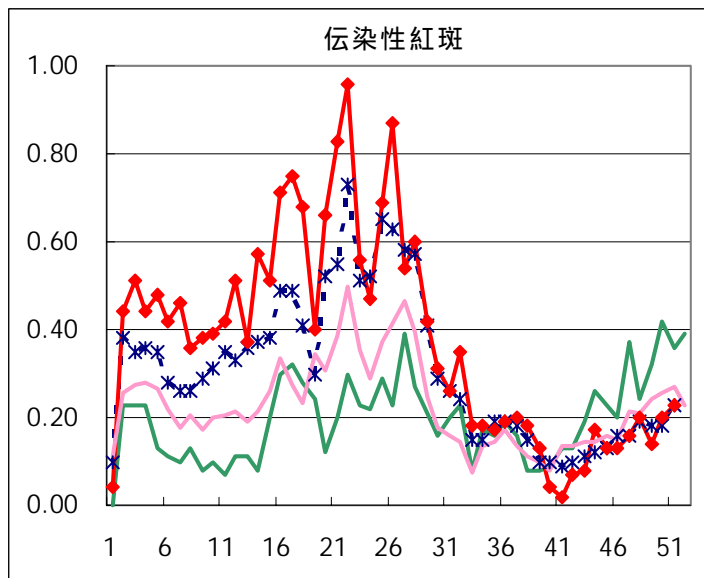
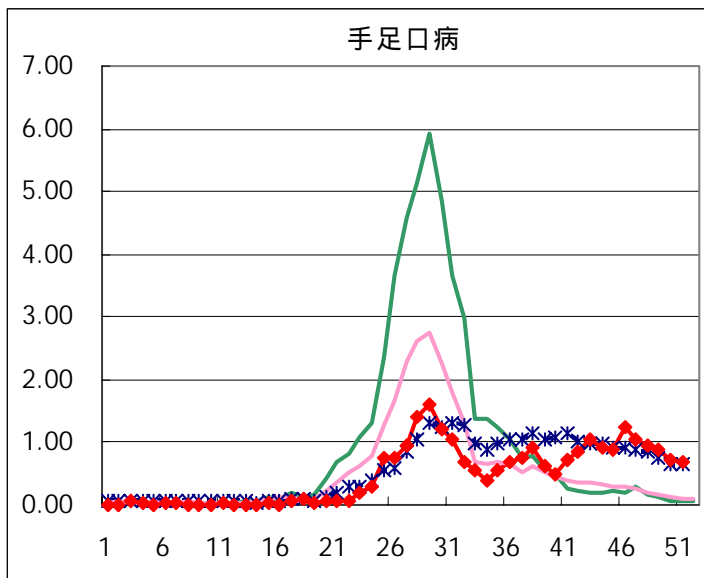
五類定点患者報告数(男女別)

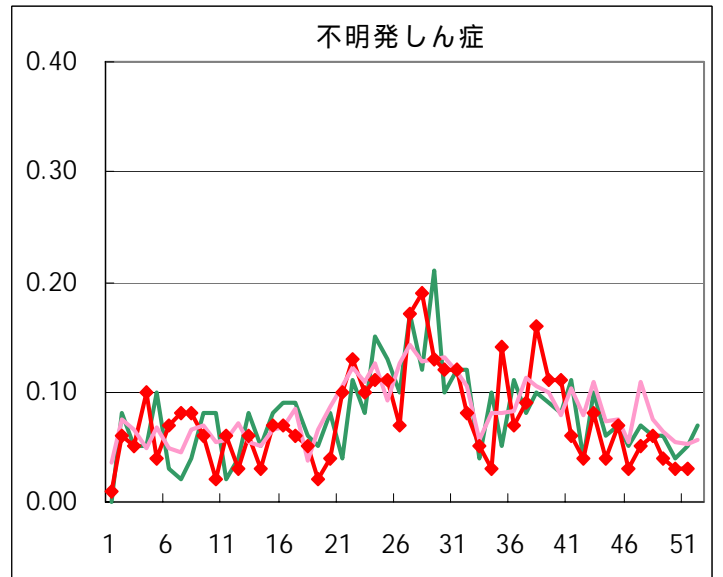
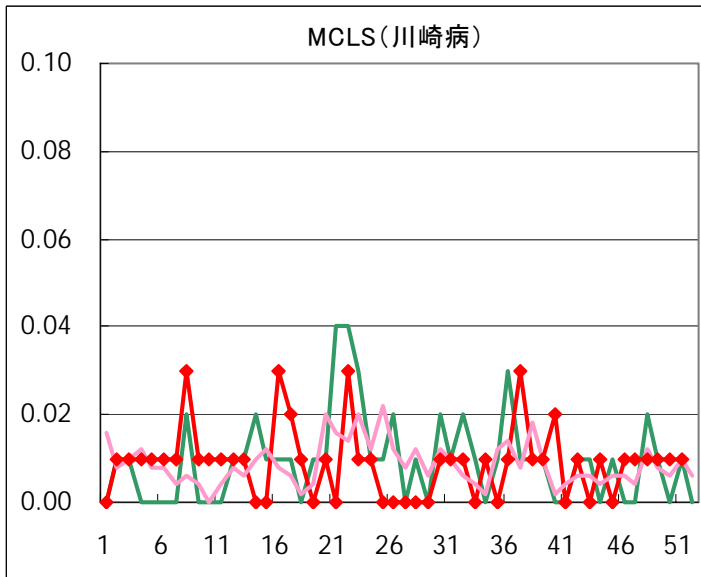
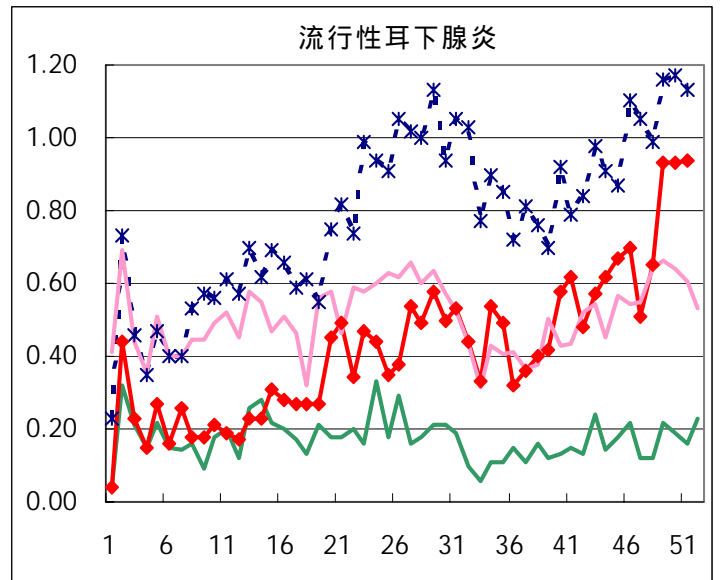
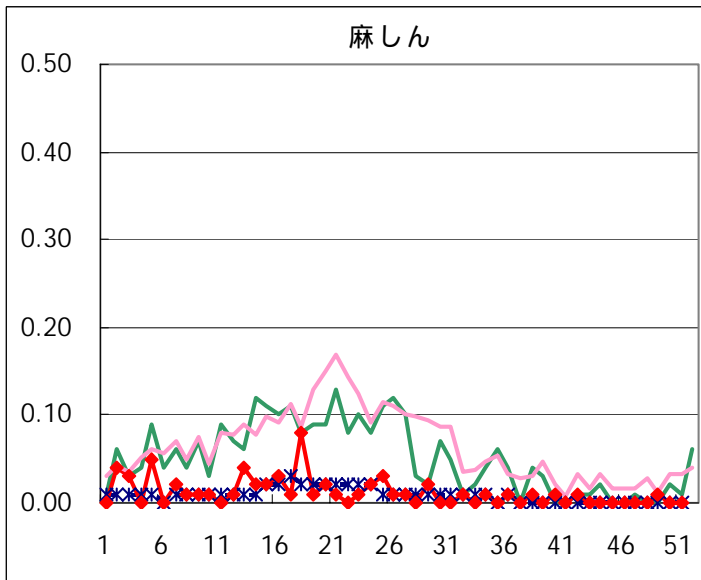
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		48	49	50	51		
RSウイルス感染症	男	11	26	9	14	60	215
	女	11	13	12	11	47	177
インフルエンザ	男	28	38	38	55	159	9,444
	女	30	38	30	54	152	9,305
咽頭結膜熱	男	9	6	19	15	49	1,098
	女	5	9	17	18	49	963
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	41	62	62	75	240	3,039
	女	41	43	61	56	201	2,589
感染性胃腸炎	男	463	680	1048	1272	3,463	18,379
	女	411	693	960	1272	3,336	17,108
水痘	男	75	98	89	122	384	3,423
	女	76	86	95	109	366	3,021
手足口病	男	69	68	64	50	251	1,878
	女	67	57	40	46	210	1,598
伝染性紅斑	男	13	12	13	13	51	1,317
	女	15	8	15	20	58	1,408
突発性発しん	男	42	38	34	39	153	2,028
	女	30	36	21	24	111	1,910
百日咳	男						19
	女				1	1	22
風しん	男	2			1	3	130
	女			1		1	102
ヘルパンギーナ	男	4	1	7	10	22	2,730
	女	1	4	4	3	12	2,536
麻しん(成人麻しんを除く)	男		1			1	39
	女		1			1	35
流行性耳下腺炎	男	53	65	75	82	275	1,674
	女	40	67	57	52	216	1,369
不明発しん症	男	5	3	2	3	13	272
	女	3	2	2	1	8	261
MCLS	男	1	1	2	1	5	32
	女	1	1			2	31
急性出血性結膜炎	男						3
	女						3
流行性角結膜炎	男	6	4	3	6	19	383
	女	1	8	3	4	16	318
細菌性髄膜炎	男	1				1	14
	女	1			2	3	10
無菌性髄膜炎	男	1	2			3	20
	女		1	1		2	27
マイコプラズマ肺炎	男	2	4	3	1	10	74
	女	2	2		6	10	81
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						2
	女						2
成人麻しん	男						10
	女						6

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

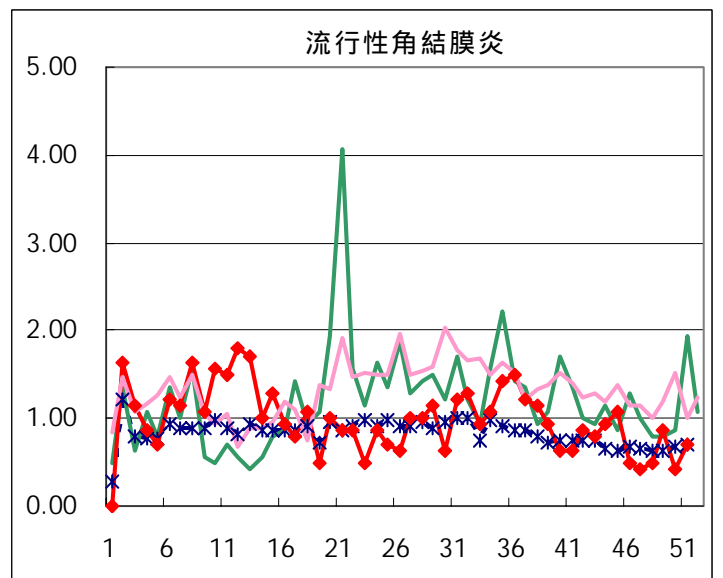
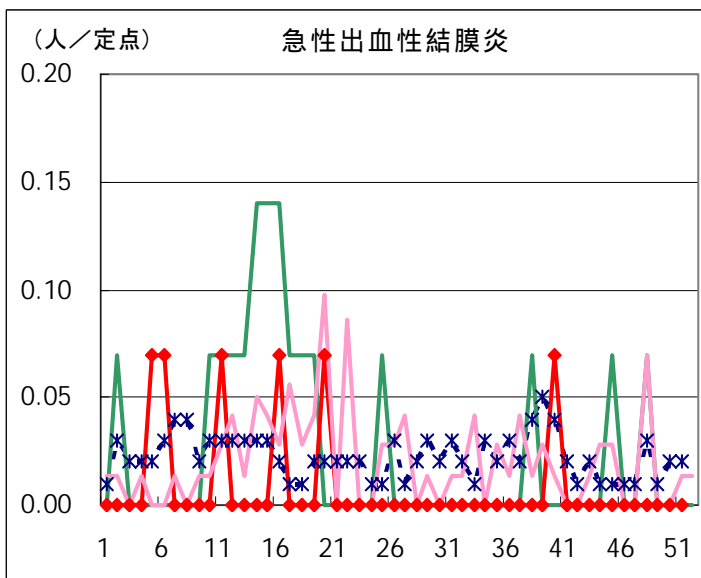
◆ 小児科・インフルエンザ定点



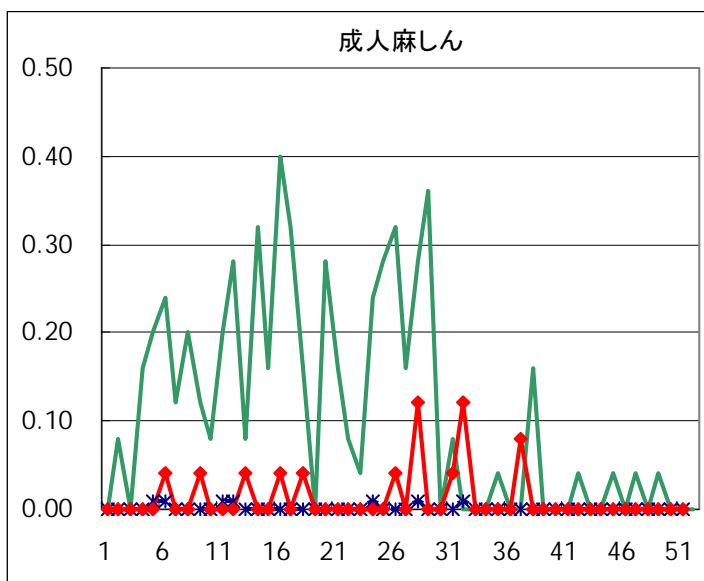
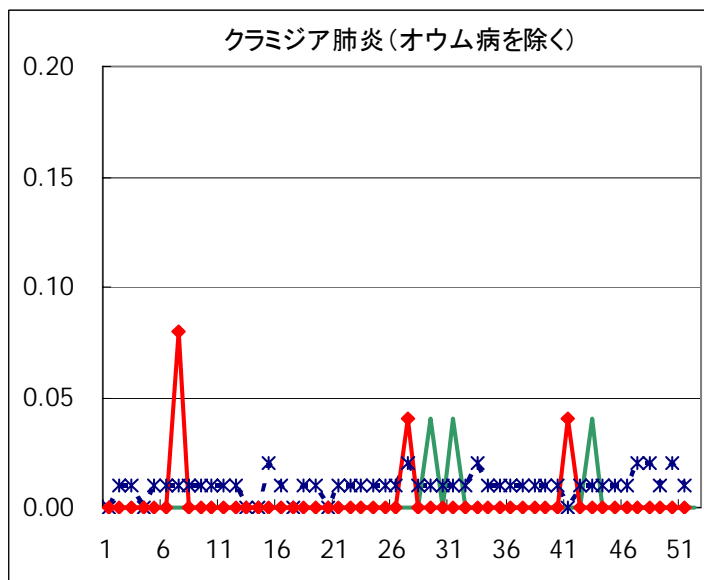
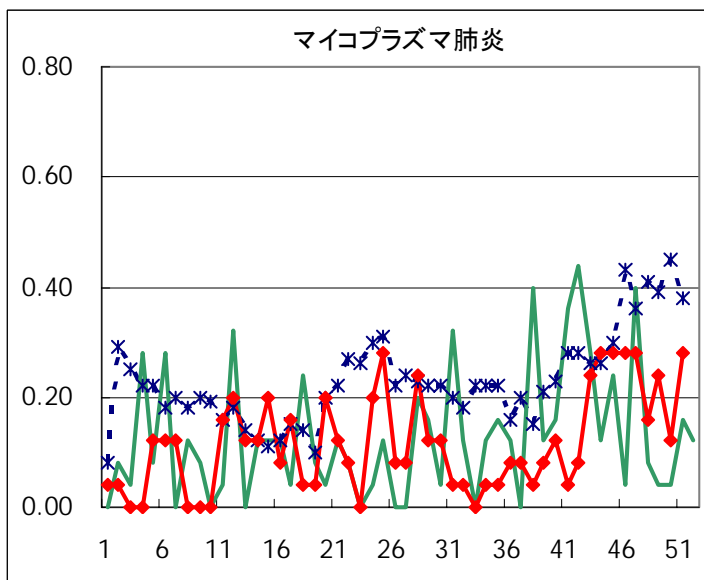
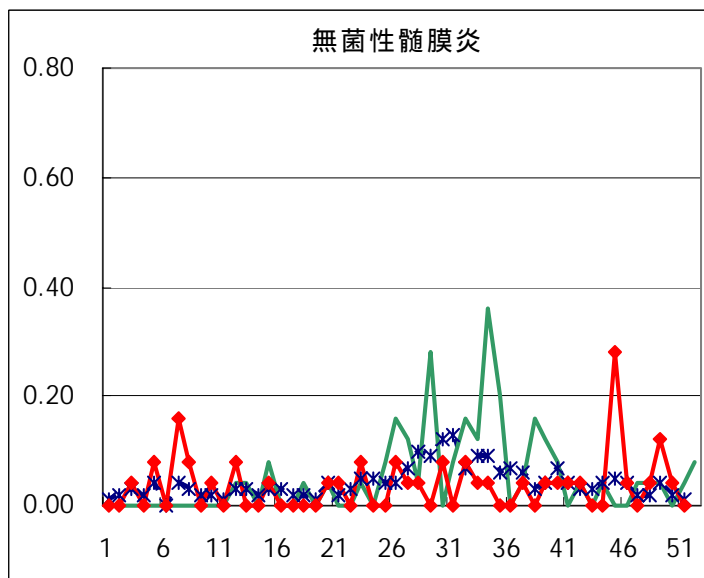
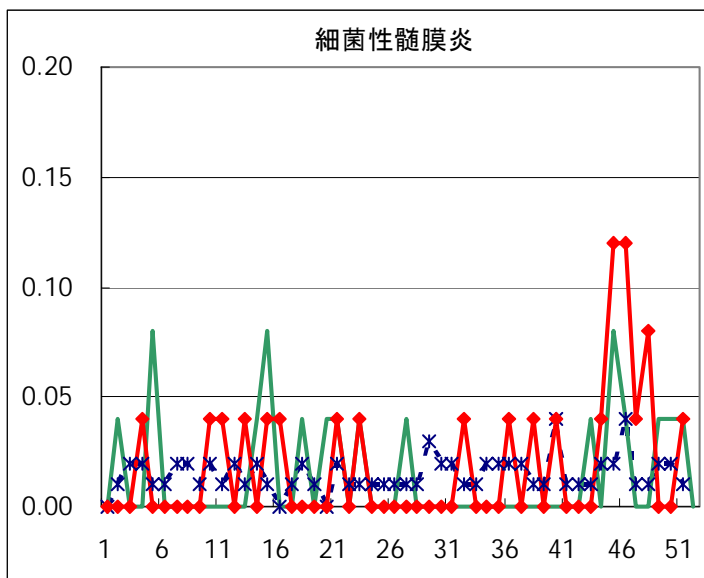




◆眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年44週～51週)

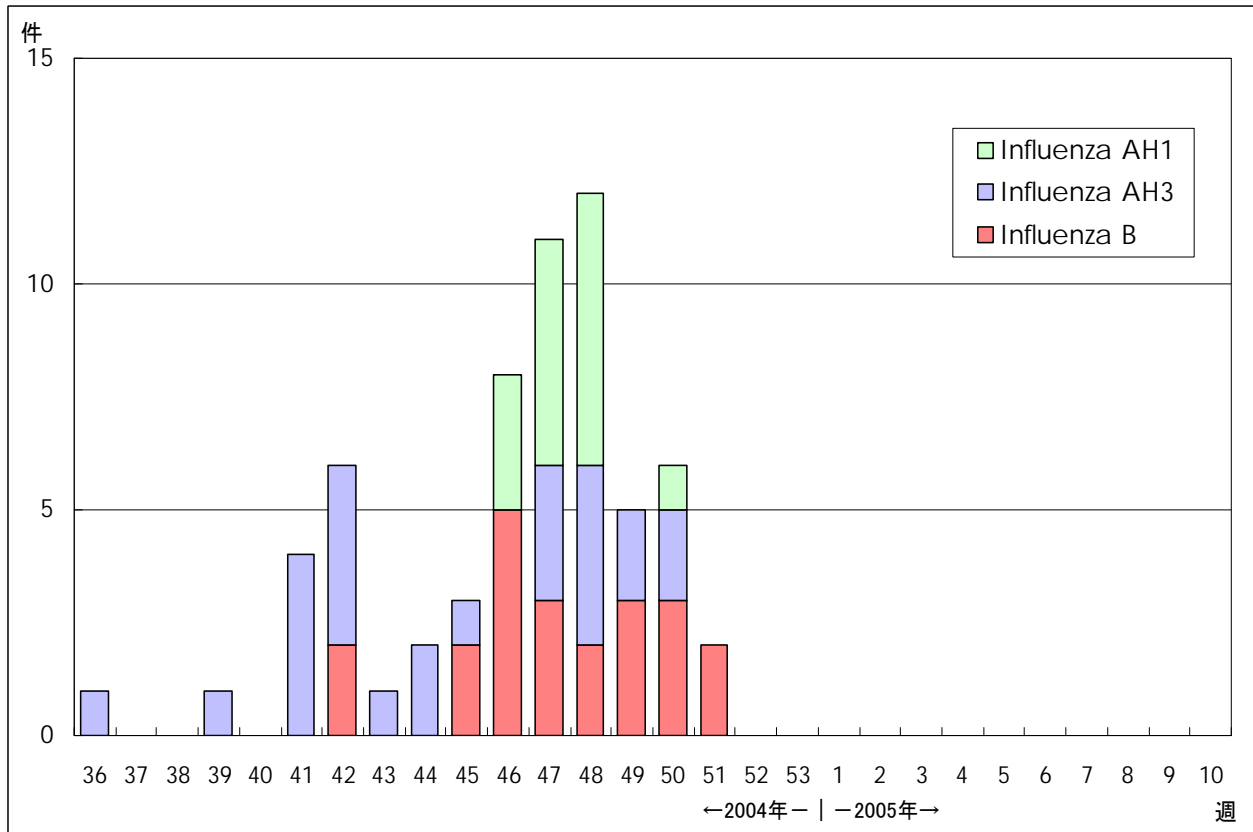
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		44	45	46	47	48	49	50	51		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型	3		3			7	7	5	25	
	インフルエンザB型							2		2	
	RSV										
	アデノ	5	2	2	5	4	6	3	1	28	
	エンテロ	1	3	9	5			2	3	23	
	ノロ		13	24	10	18	29	51	75	220	
	ロタ										
	単純ヘルペス								1	1	
	水痘・带状疱疹しん										
	EBV				1	1				2	
	CMV	1			2					3	
	HHV6/7		2	5	3	1	2		4	17	
	ムンプス							1	1	2	
	麻疹										
	パルボB19										
	分離型別・遺伝子型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1									
		アデノ2									
アデノ3											
エコー13											
エンテロ71											
コクサッキーA6											
ライノ			3							3	
抗体											
細菌	デング	1	1							2	
	ツツガムシ										
	カンピロバクター							1		1	
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグララーゼⅠ型					1	1			2	
	MRSAコアグララーゼⅡ型				1		4	1	6	12	
	MRSAコアグララーゼⅢ型				1	1				2	
	MSSAコアグララーゼⅤ型				1					1	
	溶連菌T-1型										
	溶連菌T-3型	1								1	
	溶連菌T-4型	1						1		2	
	溶連菌T-6型										
	溶連菌T-12型	1						3		4	
	溶連菌T-22型										
溶連菌T-25型											
溶連菌T-28型			1				1	1	3		
溶連菌UT											
性感染症	梅毒	1		2	6	8	6	2	3	28	
	クラミジア抗体	20	17	33	62	72	76	121	117	518	
	クラミジア遺伝子				1					1	
	淋菌遺伝子										
	パピローマ	1				1	2			4	

臨床診断名別病原体検出結果（2004年44週～51週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザ を含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	25																25
インフルエンザB型		2															2
RSV																	
アデノ	1	9	4			1						6	1			6	28
アデノ1																	
アデノ2																	
アデノ3																	
エンテロ			3			2	5		1			8	1			3	23
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1																	
ポリオ2																	
ムンプス							1									1	2
ノロ						220											220
ロタ																	
単純ヘルペス									1								1
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19																	
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

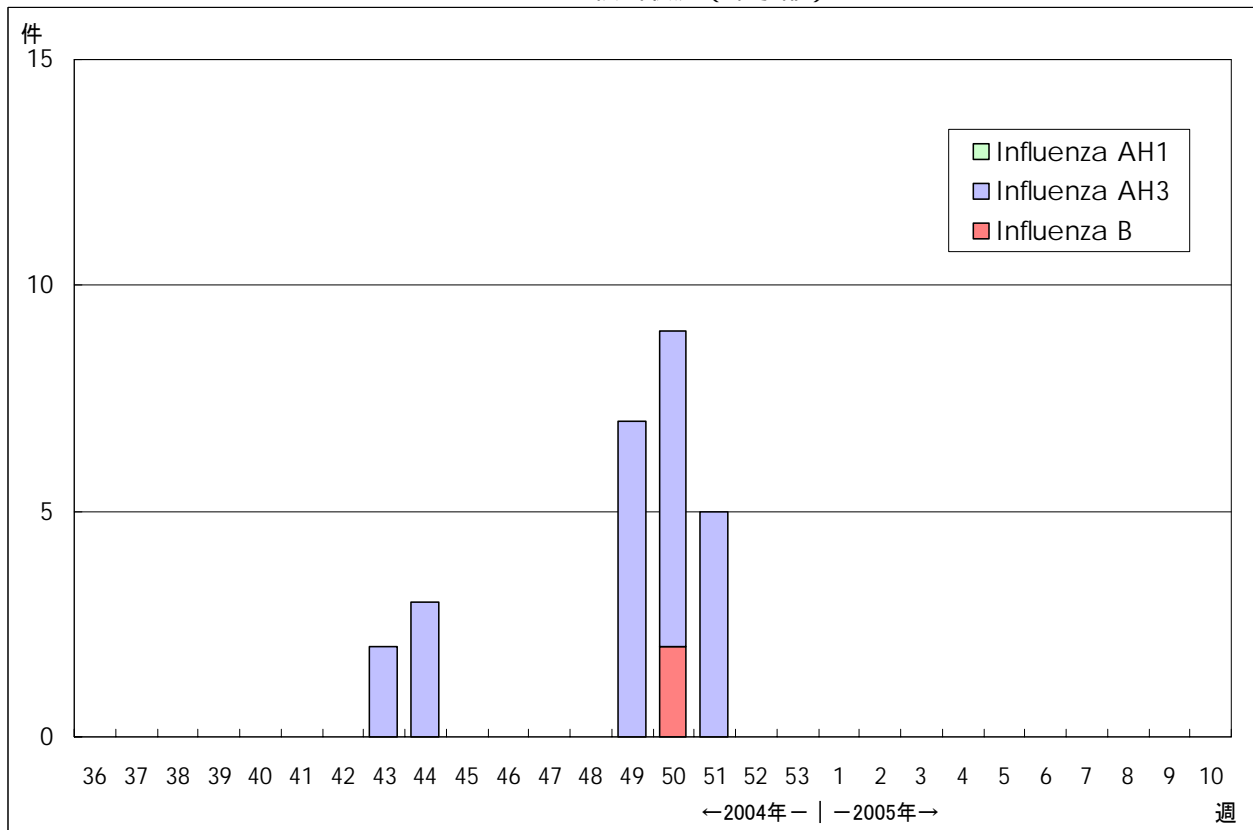
病原体グラフ (インフルエンザ)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (全国)



IASR 病原微生物検出情報 (2004年12月22日現在報告数)

2004 - 05シーズンのインフルエンザウイルス検出状況 (東京都)



ウイルス研究科・多摩支所微生物研究科

年齢階級別報告数 2004年 51週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	1				12	2			5
～1歳	4	2			118	13	6		32
1歳	7	5	6	4	344	44	13	4	23
2歳	2	4	4	4	278	46	18	2	3
3歳	1	6	4	9	254	41	14	5	
4歳		16	8	15	262	36	19	5	
5歳		5	8	19	250	14	11	4	
6歳	1	4	2	21	152	12	8	5	
7歳	1	13	1	18	124	6	4	1	
8歳		14		11	85	8			
9歳		3		6	81	3		2	
10～14歳		6		17	155	3	1	4	
15～19歳				1	34				
20～29歳	8	7		6	395	3	2	1	
30～39歳		14							
40～49歳		5							
50～59歳		1							
60～69歳		3							
70～79歳		1							
80歳以上									
合計	25	109	33	131	2544	231	96	33	63
先週比	4	41	-3	8	536	47	-8	5	8

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月			1						
～1歳	1		3					1	1
1歳		1	1		5		1	3	
2歳			1		11				
3歳			3		20				
4歳			1		33				
5歳			1		20				
6歳					19				
7歳					9		1		
8歳					5				
9歳					2				
10～14歳					6		1		
15～19歳					1				
20～29歳			2		3		1		
30～39歳							3		
40～49歳									
50～59歳							1		
60～69歳							1		
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	1	1	13	-	134	-	10	4	1
先週比	1	0	2	0	2	0	4	0	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 51週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		1			4	1	2			
中央区				2	37	1	3		2	
みなと	11	1	3	9	26	4	3	1		
新宿区					86	4		1		
文京		6		1	32	14	3		1	
台東				2	64	1	4		9	
墨田区	4	3		2	66	2	5		1	
江東区		1		1	148	2	4			
品川区		7		6	139	19	1	1	1	
目黒区		5	1	5	40	3	5		1	
大田区	1	10	11	9	191	10	9	2	7	
世田谷区		3	1	2	160	14	6		2	
渋谷区		2		2	69	4	7		1	
中野区	4	4		5	102	9	3	6	1	
杉並		4		7	132	8	1		3	
池袋		1			26	1				
北区		23		5	88	10	1	3	1	
荒川区			4	5	89	8	7			1
板橋区		1		1	37	2	3			
練馬区		9	2	15	77	7	1	2	3	
足立		3	1	4	44	9	1		3	
葛飾		3		3	74	8	4	1	5	
江戸川		8	3	5	167	6			4	
西多摩		3	1	14	90	20	3	1	5	
八王子					14	3	1	1	1	
南多摩		5			52	3	1		2	
町田				12	208	24	3	3		
多摩立川	1	3		1	27	3	1			
多摩府中	1	1		2	89	15	8	3	6	
多摩小平	3	2	6	10	166	15	6	8	4	
島しょ				1		1				

東京都合計	25	109	33	131	2544	231	96	33	63	1
定点当り報告数	0.18	0.61	0.23	0.92	17.92	1.63	0.68	0.23	0.44	0.01

保健所別報告数 2004年 51週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田		1		1			1		11
中央区				4					49
みなと				2		2			62
新宿区				5		1			97
文京						2			59
台東				12					92
墨田区				3			1		87
江東区									156
品川区							1	1	176
目黒区				2					62
大田区		1		17					268
世田谷区		1		12					201
渋谷区	1			10					96
中野区				2					136
杉並		1		6					162
池袋									28
北区				4					135
荒川区						2			116
板橋区				2					46
練馬区		2		1					119
足立				1					66
葛飾				3					101
江戸川		2							195
西多摩				15					152
八王子				3					23
南多摩		2		4					69
町田		2		9		1			262
多摩立川				5					41
多摩府中				8		2	1		136
多摩小平		1		3					224
島しょ									2

東京都合計	1	13	-	134	-	10	4	1	3429
定点当り報告数	0.01	0.09	-	0.94	-	0.71	0.03	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年51週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田		0.20			1.00	0.25	0.50			
中央区				0.67	12.33	0.33	1.00		0.67	
みなと	1.83	0.14	0.50	1.50	4.33	0.67	0.50	0.17		
新宿区					14.33	0.67		0.17		
文京		1.50		0.33	10.67	4.67	1.00		0.33	
台東				0.67	21.33	0.33	1.33		3.00	
墨田区	1.33	0.75		0.67	22.00	0.67	1.67		0.33	
江東区		0.25		0.33	49.33	0.67	1.33			
品川区		1.00		1.00	23.17	3.17	0.17	0.17	0.17	
目黒区		1.25	0.33	1.67	13.33	1.00	1.67		0.33	
大田区	0.11	1.00	1.22	1.00	21.22	1.11	1.00	0.22	0.78	
世田谷区		0.33	0.13	0.25	20.00	1.75	0.75		0.25	
渋谷区		0.40		0.50	17.25	1.00	1.75		0.25	
中野区	0.67	0.57		0.83	17.00	1.50	0.50	1.00	0.17	
杉並		0.57		1.17	22.00	1.33	0.17		0.50	
池袋		0.17			5.20	0.20				
北区		4.60		1.25	22.00	2.50	0.25	0.75	0.25	
荒川区			2.00	2.50	44.50	4.00	3.50			0.50
板橋区		0.14		0.17	6.17	0.33	0.50			
練馬区		1.50	0.40	3.00	15.40	1.40	0.20	0.40	0.60	
足立		0.60	0.25	1.00	11.00	2.25	0.25		0.75	
葛飾		0.60		0.75	18.50	2.00	1.00	0.25	1.25	
江戸川		1.60	0.75	1.25	41.75	1.50			1.00	
西多摩		0.43	0.20	2.80	18.00	4.00	0.60	0.20	1.00	
八王子					7.00	1.50	0.50	0.50	0.50	
南多摩		1.25			17.33	1.00	0.33		0.67	
町田				6.00	104.00	12.00	1.50	1.50		
多摩立川	0.17	0.38		0.17	4.50	0.50	0.17			
多摩府中	0.10	0.08		0.20	8.90	1.50	0.80	0.30	0.60	
多摩小平	0.50	0.25	1.00	1.67	27.67	2.50	1.00	1.33	0.67	
島しょ				1.00		1.00				

東京都合計	25	109	33	131	2544	231	96	33	63	1
定点当り報告数	0.18	0.61	0.23	0.92	17.92	1.63	0.68	0.23	0.44	0.01

保健所別報告数(定点当たり) 2004年51週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田		0.25		0.25			0.25	
中央区				1.33				
みなと				0.33		2.00		
新宿区				0.83		0.50		
文京						2.00		
台東				4.00				
墨田区				1.00			0.33	
江東区								
品川区							0.17	0.17
目黒区				0.67				
大田区		0.11		1.89				
世田谷区		0.13		1.50				
渋谷区	0.25			2.50				
中野区				0.33				
杉並		0.17		1.00				
池袋								
北区				1.00				
荒川区						2.00		
板橋区				0.33				
練馬区		0.40		0.20				
足立				0.25				
葛飾				0.75				
江戸川		0.50						
西多摩				3.00				
八王子				1.50				
南多摩		0.67		1.33				
町田		1.00		4.50		1.00		
多摩立川				0.83				
多摩府中				0.80		2.00	0.10	
多摩小平		0.17		0.50				
島しょ								

東京都合計	1	13	-	134	-	10	4	1
定点当り報告数	0.01	0.09	-	0.94	-	0.71	0.03	0.01

< 感染症豆知識 >

先天性風しん症候群

2004年には、都内医療機関から、先天性風しん症候群が3例報告された。この内2例は風しんワクチンが未接種だったことが確認されている。先天性風しん症候群は、妊娠初期における風しんウィルスの経胎盤感染により発生する。主な症状は、感音性難聴、先天性白内障または緑内障、先天性心疾患の三徴である。

風しんの予防接種は生後12～36ヶ月を標準接種期間にして実施されている。2001年度感染症流行予測調査によれば、5～9才の接種率は83.3%である一方、25～29才では55.1%と低い。

本予防接種は、1995年度より、中学生女子を対象とした妊娠期の感染を防ぐための集団接種から、流行の抑制を目的とした幼児期の個別接種に切り替えられた。その際、経過措置として中学生時の個別接種の対象となった1979年～1987年生まれの児は、両接種制度の狭間で、必ずしも接種が進まなかった。

今後この年代の女性が出産が多い時期に差し掛かるため、より一層先天性風しん症候群予防の注意喚起を行う必要がある。幼児期の接種に移行して以降、近年、都内では本格的な風しんの流行は発生していないが、流行を完全に阻止することは困難であり、妊娠期の女性が感染する可能性をなくすことはできない。

このため、妊娠を希望する未接種の女性は、妊娠していないことを確認の上、早期に接種を行うべきである。また、風しんの流行をより小さくするために、乳児期の対象児に確実に接種を受けさせることが重要である。

なお、国はより徹底した感染の予防を目的に、2006年度を目途に、風しん予防接種の2回接種化を検討している。

(文責・前田 秀雄)